

報道機関 各位

**古代出雲文化フォーラムⅪ ～古代出雲と備後～ を開催します。
【3月9日（土） 広島市】**

◆本件のポイント！

令和6年3月9日（土）広島市にて、古代出雲文化フォーラムⅪ（イレブン）を開催。
事前申込制にて準備しておりますが、当日は満員のご参加をいただく予定です。広島での開催は10年ぶりとなります。

◆本件の概要

本学の開催する「古代出雲文化フォーラム」は平成24年度から始まり、今回で10回目となります。毎回、島根県及び県内市町の協力・支援を賜りながら開催が実現しており、本学の目指す地域社会との連携及び協力関係を構築する上で重要な役割を担っています。

本フォーラムでは、第一部で「古代出雲と備後」をテーマに、最新の学術成果をもとに分かりやすく紹介します。第二部では世界遺産石見銀山遺跡の発掘調査に関する本学の取組とご紹介し、また、今年度より新たに開設した材料エネルギー学部をはじめとした島根大学の将来展望についてご説明するなど、本学の取り組みについても理解を深めて頂く内容としています。

◆本件に関する写真



▲前回開催の様子（古代出雲文化フォーラムⅡ（広島国際会議場にて））

◆概要内容

- | | |
|-----|---|
| 主 催 | 島根大学 |
| 共 催 | 島根県、島根県教育委員会、松江市、出雲市、大田市、雲南市、奥出雲町、飯南町 |
| 後 援 | 文化庁、安来市、広島県、山陰中央テレビジョン放送株式会社、株式会社山陰中央新報社、株式会社山陰放送、日本海テレビジョン放送株式会社、山陰ケーブルビジョン株式会社、株式会社山陰合同銀行、中国新聞社 |
| 日 時 | 令和6年3月9日（土）13：00～16：30 |
| 会 場 | 広島国際会議場（広島県広島市中区中島町 1-5（平和記念公園内）） |

定員 300名

<内容>

司会：石原 美和 フリーアナウンサー

開会挨拶：服部 泰直 島根大学長

第1部 シンポジウム (13:10~15:10)

- 「弥生時代の備後・安芸と出雲・石見の交流～土器・鉄・墓～」
会下 和宏 (島根大学総合博物館 館長・教授)
- 「国史跡寺町廃寺跡が語る備後と出雲」
藤川 翔 (三次市教育委員会文化と学びの課 主任主事)
- 「出雲と備後を結ぶ道-『出雲国風土記』からみた-」
橋本 剛 (島根県教育庁文化財課 古代文化センター 主任研究員)

第2部 島根大学の取組 (15:30~16:20)

- 「石見銀山遺跡から広がる島根大学の取組」
平郡 達哉 (島根大学法文学部社会文化学科 准教授)
- 「地域社会に根ざした島根大学の取組 ～材料エネルギー学部新設～」
三原 毅 (島根大学材料エネルギー学部長)

参加費 無料

◆本件の連絡先

島根大学企画部企画広報課広報グループ

TEL：0852-32-9729

Mail：gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください

【添付資料： あり (2 枚) なし】



令和6年 3月9日(土)

- ◎第1部：シンポジウム
- ◎第2部：島根大学の取組

参加費 無料 定員 最大 300名
スクール形式

会場 広島国際会議場
広島県広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

時間 13:00～16:30 開場 12:00～

【主催】島根大学

【共催】島根県・島根県教育委員会・松江市・出雲市・大田市・雲南市・奥出雲町・飯南町

【後援】文化庁・安来市・広島県・山陰中央テレビジョン放送株式会社・株式会社山陰放送・日本海テレビジョン放送株式会社・山陰ケーブルテレビジョン株式会社・株式会社山陰合同銀行・中国新聞社

出雲 VI

文化フォーラム

Forum on Ancient Izumo Culture

古代出雲と備後

今回のフォーラムでは、古代の出雲と備後、さらには安芸や石見も含めた交流をテーマに講演を行います。両地域は、先史・古代より人・モノ・情報の活発な交流が行われてきました。弥生時代の土器・鉄器や墳丘墓の分布、奈良時代の「国史跡寺町廃寺跡」の調査成果、『出雲国風土記』の記述などが、こうした歴史を裏付けています。

最新の発掘調査や研究の成果にもとづく両地域の交流の歴史を、様々な角度から、一緒に考えてみませんか。



風土記復元品の巻物
(島根県立古代出雲歴史博物館所蔵)



『出雲国風土記』古代文化センター本
(写真提供：島根県古代文化センター)

お申し込み方法などは裏面をご覧ください。

史跡矢谷古墳
(写真提供：三次市教育委員会)

寺町廃寺跡・塔心礎 (写真提供：三次市教育委員会)

寺町廃寺跡・軒丸瓦
(写真提供：三次市教育委員会)

古代出雲と備後



●プログラム

開会
挨拶

服部 泰直
島根大学長



司会

石原 美和
フリーアナウンサー



第1部 シンポジウム (13:10~15:10)

講演
1

弥生時代の備後・安芸と出雲・石見の交流 ~土器・鉄・墓~ 13:10~13:50

會下 和宏 島根大学総合博物館 館長・教授

1969年島根県生まれ。茨城大学人文学部卒業。広島大学・博士(文学)。専門は博物館学・考古学。主な著書『墓制の展開にみる弥生社会』同成社2015年、『三江線の過去・現在・未来 地域の持続可能性とローカル線の役割』今井出版2017年(共著)、『古代東アジア都市の構造と変遷』同成社2022年(共著)など。



講演
2

国史跡寺町廃寺跡が語る備後と出雲 13:50~14:30

藤川 翔 三次市教育委員会文化と学びの課 主任主事

1993年広島県生まれ。島根大学法文学部卒業。専門は考古学(弥生時代)。



講演
3

出雲と備後を結ぶ道 —「出雲国風土記」からみた— 14:30~15:10

橋本 剛 島根県教育庁文化財課 古代文化センター 主任研究員

1987年埼玉県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は日本古代史。主な著書『出雲国風土記一校訂・注釈編一』八木書店2023年(共著)、『古代の山陰・山陽連絡路について』2022年(『出雲古代史研究』32より)など。



休憩

第2部 島根大学の取組 (15:30~16:20)

発表
1

石見銀山遺跡から広がる島根大学の取組 15:30~15:55

平郡 達哉 島根大学法文学部社会文化学科 准教授

1976年大阪府生まれ。専門は朝鮮考古学。花園大学、滋賀県立大学卒業後、木浦大学校考古人類学科、釜山大学校考古学科に留学。釜山大学校考古学科非常勤講師、専任待遇講師を経て、2013年から現職。著書『墳墓資料からみた青銅器時代社会』書景文化社2013年。



発表
2

地域社会に根ざした島根大学の取組 ~材料エネルギー学部新設~ 15:55~16:20

三原 毅 島根大学材料エネルギー学部長

1956年島根県生まれ。東北大学工学部金属加工工学科卒業、修士修了、工学博士。同大助教、助教授、准教授の後、2007年富山大学工学部機械知能システム工学科教授。2015年東北大学大学院工学研究科材料システム工学専攻教授として戻り2017~2019年主任専攻長。2023年4月から現職。東北大学名誉教授。専門は超音波計測、破壊力学、材料評価。



〔申込方法〕 下記の方法のいずれかの方法でお申し込みください。令和6年2月上旬ごろ入場整理券を郵送いたします。

申込締切 令和6年1月31日(当日消印有効。ただし、申込は先着順となりますので、定員になり次第締め切ります。)

FAXでのお申込み

必要事項をご記入の上、送信してください。

受付FAX番号 **0852-32-6630**

| | |
|---------|------|
| (フリガナ) | ●同伴者 |
| ●申込者氏名 | 年齢 歳 |
| ●申込者住所〒 | 名 |
| ●TEL | |

ホームページでのお申込み

<https://www.shimane-u.ac.jp/>

古代出雲文化フォーラムXI

検索



ハガキでのお申込み

申込者住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者数をご記入の上、下記宛先までご郵送ください。

宛先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
島根大学企画部企画広報課「古代出雲文化フォーラムXI」宛
ご応募いただいた個人情報(氏名及び住所等)は「古代出雲文化フォーラム」の案内のみ使用致します。フォーラム当日は撮影が入る場合があります。そのため、TV・新聞・インターネット等に映り込み、掲載・放映される可能性がありますので、予めご理解の上、お申し込みください。

お問合せ



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

島根大学企画部企画広報課 TEL 0852-32-9729

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 E-mail: forum@office.shimane-u.ac.jp